



## 平成28年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年7月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 文教堂グループホールディングス  
コード番号 9978 URL <http://www.bunkyodo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長  
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長  
四半期報告書提出予定日 平成28年7月15日

(氏名) 嶋崎富士雄  
(氏名) 宗像光英

TEL 044-811-0118

配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年8月期第3四半期の連結業績(平成27年9月1日～平成28年5月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年8月期第3四半期	24,811	△1.6	61	—	71	—	△28	—
27年8月期第3四半期	25,220	△0.7	△101	—	△92	—	△228	—

(注) 包括利益 28年8月期第3四半期 51百万円 (—%) 27年8月期第3四半期 △207百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
28年8月期第3四半期	△2.35	—
27年8月期第3四半期	△16.63	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円銭	百万円	円銭		
28年8月期第3四半期	25,461	—	776	—	2.9	△1.75
27年8月期	24,922	—	725	—	2.8	△2.90

(参考) 自己資本 28年8月期第3四半期 729百万円 27年8月期 708百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
27年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年8月期	—	0.00	—	—	—
28年8月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年8月期の連結業績予想(平成27年9月1日～平成28年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	33,500	0.5	130	—	150	—	55	—	3.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年8月期3Q	14,004,715 株	27年8月期	14,004,715 株
② 期末自己株式数	28年8月期3Q	27,913 株	27年8月期	27,913 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年8月期3Q	13,976,802 株	27年8月期3Q	13,976,802 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表時現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後、様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	2
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	2
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(重要な後発事象) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善傾向が続いているものの、個人消費などに弱さがみられ、消費者マインドの低下等がわが国の景気を下押しするリスクとなっており、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

出版流通業界におきましては、スマートフォンやタブレット端末の急速な普及が進む中で、定期刊行雑誌を中心に市場規模の縮小が続いており、改善の兆しもなかなか見えない状況です。

このような状況下において、当社グループにおきましては、事業構造の改革及び経営効率の改善を急ピッチで進めてまいりました。

新規出店及びリニューアルにつきましては、アニメ関連商品に特化した「アニメガ」や、既存書店への文具導入などに積極的に取り組み、品揃えを強化することによって、集客力及び収益性の向上を図ってまいりました。新規店は、アニメガ札幌パルコ店、アニメガ高松店、JQストア心斎橋OPA店、中央林間店、CAカフェ渋谷店、武蔵小金井店、京王八王子店、アニメガ名古屋丸栄店、CA鷺ノ宮駅店の9店舗を出店いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は24,811百万円（前年同四半期比1.6%減）、営業利益は61百万円（前年同四半期は営業損失101百万円）、経常利益は71百万円（前年同四半期は経常損失92百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は投資有価証券評価損65百万円を計上したことにより28百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失228百万円）となりました。

### （2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、25,461百万円となり、前連結会計年度末に比べて538百万円増加いたしました。主な要因は、商品が976百万円増加した一方、現金及び預金が275百万円、差入保証金が123百万円減少したことなどによるものです。

負債は24,684百万円となり、前連結会計年度末に比べて487百万円増加いたしました。主な要因は、短期借入金が1,025百万円、長期借入金が623百万円、社債が195万円増加した一方、買掛金が735百万円、一年内返済予定長期借入金が202百万円減少したことなどによるものです。

純資産は776百万円となり、前連結会計年度末に比べて51百万円増加いたしました。主な要因は、その他有価証券評価差額金が60百万円増加したことなどによるものです。

### （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年10月15日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### 会計方針の変更

##### （企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

##### （平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第3四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による影響は軽微であります。

### 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度において399百万円の営業損失を計上いたしました。これにより継続企業の前提に関する重要事象等が存在しておりますが、以下の通り対応策を実施し、当第3四半期連結累計期間においては61百万円の営業利益を計上し確実に成果を上げており、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

当社グループといたしましては、引き続き店舗リニューアルを含めたスクラップアンドビルド及び人員体制再構築などによる事業構造の改革を着実に進めることにより、営業利益及び営業キャッシュ・フローを獲得できる体制を構築しております。

今後の新規出店及び既存店のリニューアルにつきましては、好調な推移を見せている「アニメガ」を中心に新業態の出店を加速して新たな需要を喚起し、商品開発におきましても、高い利益率と集客性が見込める人気のアニメ・キャラクターグッズなど当社グループ限定商品を積極的に展開し、収益力の向上を図っております。

資金面につきましても、金融機関を中心とした手当により問題はないと認識しております。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年5月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	1,020,056	744,073
受取手形及び売掛金	1,340,535	1,365,090
商品	14,370,016	15,346,913
貯蔵品	10,313	10,560
繰延税金資産	11,678	10,546
1年内回収予定の長期貸付金	43,467	40,016
その他	345,247	304,829
流動資産合計	17,141,315	17,822,029
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	859,111	846,921
機械装置及び運搬具(純額)	1,801	4,180
土地	2,740,444	2,774,644
リース資産(純額)	176,019	175,829
その他(純額)	297,024	329,895
有形固定資産合計	4,074,401	4,131,471
<b>無形固定資産</b>		
ソフトウェア	22,479	26,083
電話加入権	32,478	32,478
無形固定資産合計	54,957	58,562
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	281,133	272,490
長期貸付金	613,873	514,513
繰延税金資産	7,795	4,499
長期未収入金	45,850	45,850
差入保証金	2,824,124	2,700,888
その他	104,684	87,632
貸倒引当金	△250,287	△209,144
投資その他の資産合計	3,627,176	3,416,730
固定資産合計	7,756,535	7,606,764
繰延資産	24,457	32,310
資産合計	24,922,308	25,461,104

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,052,990	5,317,576
短期借入金	4,078,000	5,103,000
1年内返済予定の長期借入金	3,800,667	3,597,911
1年内償還予定の社債	880,000	835,000
リース債務	69,245	71,356
未払法人税等	29,141	22,081
その他	554,690	326,240
流動負債合計	15,464,734	15,273,164
固定負債		
社債	1,395,000	1,590,000
長期借入金	6,036,647	6,659,650
リース債務	121,458	120,461
繰延税金負債	200,166	175,912
退職給付に係る負債	669,635	658,266
その他	309,241	206,993
固定負債合計	8,732,149	9,411,283
負債合計	24,196,884	24,684,448
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,035,538	2,035,538
資本剰余金	3,076,788	3,076,788
利益剰余金	△4,430,035	△4,458,905
自己株式	△18,215	△18,215
株主資本合計	664,074	635,205
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,746	69,822
退職給付に係る調整累計額	35,174	24,014
その他の包括利益累計額合計	44,921	93,836
新株予約権	16,428	16,428
非支配株主持分	—	31,185
純資産合計	725,424	776,655
負債純資産合計	24,922,308	25,461,104

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年5月31日)
売上高	25,220,518	24,811,918
売上原価	18,694,327	18,437,055
売上総利益	6,526,191	6,374,863
販売費及び一般管理費	6,627,220	6,313,003
営業利益又は営業損失(△)	△101,028	61,859
営業外収益		
受取利息	9,735	9,177
受取配当金	1,293	1,023
受取手数料	11,269	9,431
受取家賃	56,827	57,968
情報提供料収入	46,080	46,255
その他	25,982	21,338
営業外収益合計	151,187	145,195
営業外費用		
支払利息	115,351	104,683
その他	27,409	30,885
営業外費用合計	142,760	135,568
経常利益又は経常損失(△)	△92,601	71,486
特別利益		
受取損害賠償金	—	51,250
投資有価証券売却益	0	—
固定資産売却益	—	962
特別利益合計	0	52,213
特別損失		
固定資産除却損	54,298	34,951
賃貸借契約解約損	21,636	9,344
減損損失	49,013	—
投資有価証券評価損	—	65,636
特別損失合計	124,947	109,933
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	△217,548	13,766
法人税、住民税及び事業税	17,206	22,506
法人税等調整額	△6,528	△11,055
法人税等合計	10,677	11,450
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△228,226	2,315
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	31,185
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△228,226	△28,869



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年9月1日 至 平成27年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年9月1日 至 平成28年5月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△228,226	2,315
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	31,268	60,075
退職給付に係る調整額	△10,971	△11,159
その他の包括利益合計	20,296	48,915
四半期包括利益	△207,930	51,231
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△207,930	20,046
非支配株主に係る四半期包括利益	—	31,185

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

平成28年6月13日に当社が保有する投資有価証券の一部を市場で売却したことにより、投資有価証券売却益(特別利益)76,283千円が発生しております。